

葛西小学校応援団実践報告書

1 校長及び代表者氏名

学校長 葛西小学校長 落合 淳一
 代表 学校応援団 代表 吉野 弘保



2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
学習活動支援	ゲストティーチャー 海苔梳き体験学習 授業協力 校外学習引率補助	○社会科授業 指導・支援 ○「海苔梳き体験」指導・支援 ○校外学習及び地域での班別学習活動における安全指導
安全・安心	子ども見守り隊 旗振り 安全教室	○登校時の安全を見守る ○通学路で登校の安全を見守る ○セーフティー教室での指導 ○校外学習をするときの安全支援
学校行事 地域行事 PTA 行事	運動会 スマイルフェスタ 葛小フェスタ	○準備片付け支援 ○模擬店の運営 イベントの企画運営 ○指導補助
読書活動	L A S 読み語り 図書室環境整備	○本の修理や本の整頓、図書室の環境整備 ○図書室利用児童の読書活動支援 ○学級での本の読み語り・読み語り集会

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・開校130周年にあたり、地域、保護者を中心とした学校応援団組織の支援をいただき、周年行事を意義深いものにすることができた。
- ・予算面に裏付けがあり、学校の創意工夫によって使用用途の幅も広がっており、周年に向けての環境整備が飛躍的に進んだ。
- ・年度当初にLAS（学校図書館ボランティア）を募り、年間を通して活動することができた。学校図書館が整備され、児童が本を選ぶ時間が短縮し、本を読む時間が増えた。また、読み聞かせでは、担任や自分の保護者以外の方から本を読んでもらうことで、児童がより本に興味をもつことができ、充実した読書活動につながった。
- ・保護者・地域の方々を学校応援団として授業に活用し、学習活動の充実を図れた。例えば、校外における班別の学習では、複数の大人が各班を担当することで、児童は安心して学習を進めることができた。

<課題>

- ・LAS（学校図書ボランティア）の読書活動への支援を得ているが、読書科の推進のためにも、「読み聞語り」・「環境整備」・「読書活動支援」などでの支援を年間指導計画の中でどう活用するか検証する必要がある。
- ・ゲストティーチャー等との事前打ち合わせの充実。本来の授業のねらいをいかにゲストティーチャーが理解して進めるかによって、授業の効果が変わってくる。事前の調整が重要になってくる。

5 代表より

本校では、学校応援団が発足される前から、学校を支援する様々な活動が多くの人々の力によって支えられてきました。

本年度は開校130周年を迎え、130年間の歴史を開校当時から1年1年振り返ることができました。この中で、たくさんの地域の人々の温かく熱い思いが、これまでの葛西小学校を支えてくれていたことを改めて受け止めることができました。

これからも、この大切な地域力をより有効に活かすための仕組みとしての役割を担うのが、この学校応援団ではないかと考えています。地域をあげて、学校が必要としている教育活動のサポーターとなって引き続き応援していきたいと思えます。

6 学校長より

平成24年度の学校応援団も毎週水曜日の図書の読み語りから始まりました。1年生から6年生まで23学級全ての学級で、保護者や地域の皆さんが子どもたちにやさしく語りかけてくださいます。今年はお父さんの参加も増え、本ではなく電子書籍を手にして、子供たちに語りかけてくださる光景も珍しくなくなりました。毎週水曜日の朝はこのようにすてきなスタートが切れ、落ち着いた雰囲気の中で学習が始まります。12月には全校児童が体育館に集まり大型スクリーンに映し出される映像を見ながら読み語りを聞く「お話集会」が開催され、子どもたちは大喜びでした。

冬の一番寒い時期には「長嶋のりすき会」の皆さんに3年生の子どもたちが手とり足とり海苔すきの体験学習をさせていただきました。また、LASの皆さんには四季折々の掲示物が楽しい図書室の整備をいただいています。開校130周年を迎えた今年、イメージーションあふれる掲示物制作の腕を生かして、校舎内いたるところに文字通り花を添えていただきました。登校時毎朝の見守り等々、学校を応援してくださる体制がしっかりと出来上がっていることに感謝の毎日です。